

ボランティア通信 —29— 2014.12.5

千葉県がんセンターボランティア支援室

コーヒーを楽しみながら、クリスマスに思いを馳せて…

クリスマスを控えた12月5日（金）午後6時30分から、1階外来ホールで「フルートとピアノのコンサート～クリスマスの贈り物～」が開催され、フルートは阿倍菜月さん、ピアノは斎藤万里名さんと原島汐里さんが連弾で演奏してくださいました。開演前、外来ホールは演奏を心待ちにしている多くの人で賑わい、待合椅子の数も増やすほどです。永田病院長のあいさつの後、ドレス姿の3人の登場に会場は華やき、いよいよ演奏開始。「星に願いを」から始まって、「アメイジング・グレイス」、「情熱大陸」、「アナと雪の女王 レット・イット・ゴー」、「世界に一つだけの花」、「きよしこの夜」、「ふるさと」、「ジングルベル～あら野

のはてに～諸人こぞりて」…全14曲を披露してくださいました。とりわけ「世界に一つだけの花」は好評で、曲名が紹介されると、すかさず患者さんから拍手が沸き起こりました。その他に、温かくしっとりとした音色にのせて「きよしこの夜」、「ふるさと」を患者さんと一緒に合唱する場面もありました。ディズニー音楽から聖歌、童謡まで、多彩な演奏で楽しませていただきました。また今回、この企画に協賛いただいたスターバックスコーヒーさんは、患者の皆さんにクリスマスの時期にぴったりのブレンドコーヒーにクランベリープリズパーを添えて振る舞っていただきました。患者さんからは「コーヒー美味しかった。コンサートも知っている曲があり、フルートが軽やかで良かった。」といった感想のほか、「ピアノの演奏者が情感を込めて弾いていたね」と笑顔で話されている患者さんも。コーヒーを美味しくいただきながら、クリスマスに思いを馳せたあつという間のひとときでした。スターバックスコーヒーの皆さん、阿倍さん、斎藤さん、原島さん、本当にありがとうございました。



の皆さん、阿倍さん、斎藤さん、原島さん、本当にありがとうございました。